

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成30年度 第1回 川西市健康づくり推進協議会		
事務局 (担当課)	健康増進部健幸政策課 内線(4530)		
開催日時	平成30年8月30日(木) 午後3時00分から		
開催場所	川西市医師会 医療会館		
出席者	委員 (敬称略)	藤末会長 磯崎委員 松浦委員 今西委員 樋口委員 嶋川委員 蔵原委員 多久和委員 坂口委員 福西委員 田中委員 臼井委員 木村委員 野平委員 横谷委員 寶田委員 田川委員 山上委員	
	その他		
	事務局	荒崎部長、金淵副部長 松本課長 坂上主幹 森主幹 曾野副主幹 森副主幹 小林主任保健師	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	別添「審議経過」のとおり		
会議結果	別添「審議経過」のとおり		

審 議 経 過

平成 30 年度 第 1 回 川西市健康づくり推進協議会 審議経過（要旨）

平成 30 年 8 月 30 日

午後 3 時 00 分～

川西市医師会 医療会館

出席者：18 名（欠席者：4 名）

[会議次第]

- 1 開会
- 2 自己紹介
- 3 報告事項
「川西市健康づくり計画」の進捗状況について
- 4 協議事項
「川西市健幸まちづくり計画」の取組みについて
- 5 その他
- 6 閉会

事務局	<p>議事</p> <p>【1. 開会】</p> <p>平成30年度の川西市健康づくり推進協議会を開催させて頂きます。本日は、委員の皆様におかれましては、お暑い中、ご多忙の所、本推進協議会にご出席頂きまして誠にありがとうございます。最初に、本日の委員の出席状況でございますが、4名の委員からそれぞれ欠席のご連絡を頂いております。なお、半数以上の委員の皆様にご出席頂いておりますので、本日の会議は成立しておりますことをご報告申し上げます。なお、本日の会議も公開となっておりますので、よろしく願いいたします。また、傍聴の方はいらしていません。</p> <p>《委員の改選について》</p>
	<p>【2. 自己紹介】</p>
会長	<p>皆さん、こんにちは。それでは、この会を進行させて頂きます。先程、アステホールで開催されているがん講演会であいさつをしてきたのですが、多数の方が参加して頂き、盛況に進行していることを報告させて頂きます。本日は、健康づくり協議会平成30年度第1回で検討事項が1件、協議事項が1件、その他が1件ですが、4時半くらいまでに終わりたいと思っておりますので、ご協力よろしく願います。例年の事ですがざっくりばらんに忌憚のないご意見をお願いしたいと思っておりますので「さん付け」で呼ばせていただきますので、よろしく願います。それでは、式次第に沿いまして報告事項。1川西市健康づくり計画進捗状況について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>《川西市健康づくり計画の進捗状況について説明》</p>
会長	<p>平成25年から平成29年までについての健康づくり計画の進捗状況について、事務局から説明がありました。AからFの項目があり、AとB両方合わせると95%、前年と変わった所は網掛けにし、説明がありました。最初の資料1は95項目ありますので、幾つかに分けて進めたいと思います。1ページから3ページにかけて、何か質問はございませんでしょうか。</p>
委員	<p>3ページの7番目Fという評価になっているのですが、平成29年度は依頼がなかったということですが、平成30年度はどうなっているのか、或いは、今後はどうなっていくのか、検討されているのであれば、どういうニーズがあるのか教えてください。</p>
事務局	<p>平成29年度は依頼がなく、平成30年度については確認が取れていませんが、状況が大きく変わっているとは捉えていませんので、こちらにつきましては引き続き介護予防の担当所管と連携して行っていきたいと思っています。</p>
委員	<p>F評価というのがよくわからないのですが、その他になっているのはどのように評価したらいいのか、C評価とか未達というのは理解できるのですが、何故、F評価というのが入っているのかなというのがよくわからない。</p>
事務局	<p>ここがFになっているのは、依頼がなかったのでFにさせて頂いていますが、そこはわかりにくいので次年度以降、新たな計画で評価の方法も含めて検討していきたいと思っております。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。では、その他ございませんか。</p>
委員	<p>書き方の問題ですが、2ページの5、現状、課題、今後の見込みのところの6行目で、新総合体育館とありますが、市民体育館のことではないかと思うのですが。新総合体育館ではないので、私はこの文言がわからなかったのもう少し丁寧に書くべきかと思ったのですが。</p>
会長	<p>事務局、説明をお願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。誤記でございまして、総合体育館と市民体育館となります。訂正をお願い申し上げます。</p>
会長	<p>訂正をお願いします。他にございませんか。それでは、次にいきます。また、質問があれば、後ほど伺います。続きまして、4ページから8ページで質問、ご意見ございませんか。</p>
委員	<p>6ページのナンバー13・14の現状をお聞きしたいのですが、障がい者（児）のことで、現状何名おられるかということで、年々増えてきているというふうに把握をしています。手帳所持者数が平成13年時に4,100人が平成25年時には5,895人にまで増えているのですが平成28年度、平成29年度どちらでもいいんですけども、直近の人数を教えてください。</p>
会長	<p>事務局お願いします。</p>
事務局	<p>申し訳ございません。所管が別になりまして、細かい数字までは持ち合わせておりません。</p>

委員	それでしたら、14のところの右の方の現状、課題、今後の取組みのところで、相談件数の増加や相談内容の複雑化といふところなんですけれども、相談件数といふのはいつの数字がいくつでどれだけ増えて、どれだけになっているという事はわかりますでしょうか。
事務局	手持ちの資料で持ち合わせてないです。
会長	それでは、地域福祉課に問い合わせいただいて、数字を把握して頂くという事でよろしいでしょうか。
委員	はい。
会長	では、調べておいてください。その他、ございませんでしょうか。それでは、次に9ページから13ページ、ナンバー26から47までについてご意見ございませんか。歯科の事業ですね。それでは、後ほど聞かせて頂くという事で次に行かせて頂きます。網掛けがあつて、先程説明がありましたけれども、13ページから16ページ、43番から62番あたり、子どもさんの健康づくりなどが挙がっておりますが、何かご質問ございませんでしょうか。それでは、私から44番について、特定保健指導についてですが、訪問や電話等で積極的に働きかけて動機づけ支援の数が増えたとはですが、これは確か6ヵ月後にもう一度実施されますね、そこまでの評価まではされなかったのでしょうか。
事務局	実際に、初回指導の人が終了と時点が違うので、単純な比較にならないかもしれませんが、年度で比較しますと終了者、動機づけ支援の終了者についても、平成28年度157人から平成29年度161人ということで微増しております。積極的支援というものもあるのですが、そちらの終了者につきましても、平成28年度24人から平成29年度30人と増加しています。
会長	ありがとうございます。特定保健指導については、先ず特定健診を受けるのが大事なことでありますが、少しずつ増えてきていますが、更に増えるように私達もさらに努力していきたいと思っております。ご意見ございませんでしょうか。 では、次、17ページから21ページについてご意見、ご質問ありませんでしょうか。
委員	担当が違うと思うのですが、19ページの73なんです、学校保健会の充実なんです、課題や今後の見込みのところ、一番最後に次年度の課題を明確化しますと書いてあるんですけど、これは連絡・調整会議等行われたと思ひますが、どういふ課題があつたのかといふことについて、担当課の方に聞いておいてもらえらるでしょうか。
会長	事務局、回答をお願いします。
事務局	確認しておきます。
会長	委員、いかがでしょうか。
委員	70番の飲酒、喫煙、シンナー等において、事業等においてされたといふことなんですけれども、外部講師を使われたケースがわかれば教えて頂きたいと思ひます。
事務局	すみません。こちらについても、確認してお伝えさせて頂きたいと思ひます。
会長	これは一般的に市内の関係団体から講師を招請しているのか、市外から講師を招請しているのかといふことですね。
委員	医師会の先生がされているのか、学校の先生がされているのかといふことです。
会長	ちなみに、医師会には依頼されていません。その辺り、学校教育課が関係されていると思ひますので、確認をお願いします。ちなみに、薬剤師会に協力要請があると、協力するといふ姿勢でしょうか。
委員	そうですね。
会長	委員、いかがでしょうか。
委員	すいません。17ページです。ナンバー66. 現況が、電話相談の回数は増加傾向にある、人的強化が望まれる、保護者等の様々なニーズに応えるために、量的、質的な体制強化に努めるところ。あの、現況がどのようになっているのか、ちょっと教えてください。
会長	量的、質的な体制強化に努める具体的な現状について、これも教育支援センター担当といふことですか。
事務局	私達も教育支援センターと連携を取りながら就学前までの支援を一緒にしているものもあるのですが、今おっしゃられた細かい件数とか現状や課題についてはここに記載していることが把握している部分です。
委員	先程から聞いてると私達、この進捗状況や現況がどうなっているかについて質問もさせて頂いているわけなんですけれども、その所管の方がいないと回答が頂けないことで進んでいるのであれば、ここで発言している意味がないんじゃないですか。そこら辺は、どういふ風に考えているのか教えてください。

会長	事務局の方、よろしくお願いします。
事務局	すいません。仰られる通り、準備、運営の方、まずい点とか反省しているところがございます。今日は仕方がないとして、なんとか次の回からは対応が出来るようにと改善してまいりたいと思いますので、今日のところはこれです。よろしくお願いします。
会長	委員、いかがでしょうか。
委員	次回から、新たな年度が始まっていきますので、この辺はしっかりとやっぱりしておいて頂いた方が連携という部分もあると思うので、よろしくお願いします。
会長	委員、いかがでしょうか。
委員	17ページの64です。スポーツ活動推進のところ、評価Bになっていますが、猛暑が約2ヵ月弱続いて、もうへとへの状況なんです、スポーツドクターによる中学校の部活動の視察等によって、熱中症対策を未然にふさぐということが書かれておりますが、スポーツ活動と併せて、小学校のプール開放を今年は中止しました。また、高齢者、成年者も含みまして熱中症対策について、今回の健康づくり計画の中では、あまり大きく取り上げていられませんかと思っておりますので、その辺の一つは中学校の状況とか、或いは、小学校における熱中症の状況はどうなのか、そして今後、熱中症対策として川西市としてはどのように対策を立てていこうとしているのか、その3点についてお尋ねしたいと思います。
事務局	今年度は、皆さんもご存知のとおり本当に猛暑が続いているので、熱中症対策というのは様々な場面でPRが必要ということで、私たちの所管についても常日頃から健康教育ですとかHPだけでなく、これまで以上に熱中症の予防というところに努めてきたところでございます。先程来から中学校ですね、というので状況が分からない部分もあるんですけども、市として取組まないといけない部分で色々な啓発媒体を活用しながら、それぞれの所管に我々の所管から必要な啓発資材をお配りして活用して頂いているということで、今後も引き続きしていきたいという風に考えています。
会長	川西中で昔ラグビー部の生徒さんがクラブ活動中にお亡くなりになられた事故がありました。その後、医師会としまして委託を受け、各中学校の運動クラブ関係者に対して、現地での指導と、集団での熱中症対策などの健康講話を年2回実施しています。今夏は、地球温暖化の影響もあり異常気象でもとても暑かったので、今後とも、継続しなければいけないと思います。よろしいでしょうか。それでは、最後、89番から最後26ページの95番にかけて何かございますでしょうか。
委員	21ページの82番なんです、兵庫県の保健医療計画の推進に協力していく、その内容としては、県主導で進められているので地域医療連携システムの構築に協力していきますということで、川西市として協力してやっているにも関わらず、評価がBというのは何故なのかなと思ったんですけども。
会長	Bに至っているところ、どこが足りないというか。
委員	このことだけを見ると、しっかり協力しているんだろうけれども、でもまだ足りないというのは、どこなのでしょう。
事務局	県が示している病床数等が北部と南部という圏域がありますが、この4月から阪神北と阪神南が一つになりまして、阪神圏域という形になっています。川西市を含む北圏域は病床数が少なかったものですから、充たしてないという意味でAにはなっていません。
委員	できるだけ、北、南と色々あると思うのですが、それはそれでしっかり連携してしっかりやっていただきたいなと思います。
会長	阪神北・南医療圏域が阪神圏域と統一されましたが、これについて医師会としてパブリックコメントでご意見を申し上げ、その甲斐もあったかどうか分かりませんが阪神北圏域は準圏域として存続することになりました。今後も病床数も含めて協議するという事になっておりますので、私達は、医療専門職団体として北圏域内の医療提供体制について意見を述べていきたいと思っています。それでは、全体にわたって何かございませんでしょうか。
委員	20ページの77番なんですけれども、要望なんです、私ども民生委員・児童委員協議会の方では、各地区の民生委員、災害発生時の安否確認を行っています。先だっの台風、豪雨の時、この時も避難所が開設されて、各地区の担当者が行っているんですけども、安否確認だけで実際その人がけがをされた時はどう対応していくのかということが、きちっとできてないと思いますので、これは危機管理課の方に早急に緊急時の医療体制について要望して頂ければありがたい、以上です。
会長	よろしいでしょうか。それではまとめさせていただきます。全体にわたって多くの貴重なご意見いただき有難うございました。所轄の健幸政策課以外にも、危機管理室や学校教育課など他の部署に対する質問も上がりましたので、行政サイド内での横の連携をさらに強化して頂き、少なくとも質問に対する何らかの回答が得られるようにお願いしたいと思います。それでは、時間の関係で次に討議に移ります。川西市健幸まちづくり計画について事務局

	の方、お願いします。
事務局	《川西市健幸まちづくり計画についての説明》
会長	昨年策定されました川西市健幸まちづくり計画ですが、平成30年度から平成34年までの5年間の計画ですが、これを一度に全てを実施することは困難なので今年度中の実施計画を説明して頂きました。ただ今の説明について要約を1枚にまとめて頂いた方がわかりやすいと思います。これについて、既に資料はお持ちだと思いますが、何かご意見ございませんか。
委員	今、説明頂いた中で、出在家の健康公園のところなんですけど、あの踏切のところですね、だんだん出来あがって、確かにいい公園になったと思っているんですけども、すごく危険な感じがしてならないんですね。このフェンスの高さでこどもが遊んでいたら、こどもってすごく、場違いなのかもしれません、健幸政策課の方でそこらへの検討とかはしなかったのですか。
事務局	公園そのものの造ることは担当が違いますので、ご意見いただいたことは伝えますが、私どもはその中の遊具を使って健康づくりをすすめるということには関わっていますが、公園そのものの安全管理ということは、別の所管になるかと思います。
委員	そこは十分わかっていて、発言しているんですけども、そこら辺は連携してそういう話は出なかったのかなと思ったのですが。
事務局	連携させて頂いているものはあくまで健康づくりに関するものは連携させて頂いています。申し訳ございません。
委員	わかりました。
会長	ご質問、意見が集中しているようですが、他に、委員いかがでしょうか。
委員	食育のところと運動習慣のところなんですけれども、資料1-2の2ページのところをみると運動習慣10、11なんですけど、男性女性共に上がっているんですね、施策に力を入れているだけあるなと思うんですけど、食育の方を見ると30代は朝食を欠食する人が減っているのですが、10代、20代は欠食する率が上がっている。10代の方は朝を欠食すると昼の時間が決まっているので、午前中どうして過ごすのかと思うのですが、10代、20代が欠食が増えて30代が下がったかというのは、どのように把握されているのでしょうか。
会長	事務局、お願いします。
事務局	何故かというのは答になるかがわからないのですが、確かに私達の食育という観点からも10代の方の朝食の欠食というのは課題になっているという認識で捉えています。社会全体的にそうなのかということですませることはいけないと思うため、ここのところは第一次の食育推進計画のところでも提言ということで頂いているので、私達の中で出来ることでティーンズ料理教室ということを開催したところ、夏休み中でしたので来て頂いて、より食育を深めて頂いたというところがあります。学校の方も、当然、食育には力を入れているということもありますので、何故かというところがなかなか回答には至らないですけども、なんとか啓発を進めていきたいという風に思っています。
委員	平成23年と27年を比べると、4年経っているのですが、4歳年をとって入れかわっているのですが、この27年の10代のこどもらがたまたま朝を食べていなかったという風にもとれるんですが、これはやはり減らさないといけないところを増えているというのが気になりまして、私も少年野球に携わっているんですが、朝の練習前のアップで倒れたりする子がいるというのを聞いたりして、やはり暑くなっているんですけども、その辺は統計はとってないのですが、やはり朝ご飯を食べてきていない、量が少ない子が熱中症で倒れやすいのかなというのは、医学的に何か証明されているのでしょうか。食事と熱中症の関係はどうか。
会長	詳細なデータは持ち合わせていませんが、一般論として朝食の内容には、栄養素の他に塩分も水分も入っているので、熱中症対策に必要な塩分ならびに水分摂取が満たされているので、朝食をとることは大事だと思いますが、量についてはデータを持ち合わせていません。次に、様式2の健康づくり計画 目標と達成状況 進捗状況について、1ページ目からご意見いただきたいと思えます。23年度から28年度の目標数値が出ていますが、これについてご意見ありませんか。栄養食生活、身体活動、運動、休養、心の健康について具体的な目標値が上がっていますがこの辺りについて如何でしょうか。
委員	1-2の5ページの32番、39番のがん検診受診率のところですが、先程、事務局の方からご説明頂いたのですが、事業所件数の中では統計を取られていないということですね。
会長	事務局、回答をお願いします。
事務局	おっしゃられる通りで、こちらで把握しているのが、市民検診、つまり医師会さんの方に委託しているものしか数値を取ることが出来ていませんので、こういうような低い数値と

	ということになっています。
委員	ということは、これ、個人と捉えていいんでしょうか。
事務局	会社にお勤めの方々の健診は含まれておりません。
委員	ということは、個人で申し込まれて個人の受診率というものです。
事務局	平成23年、28年、ここは高くなっていると思いますが、計画を立てるにあたり、アンケート調査を取りました。その結果、このような高い数字になっております。つまり、総合的に考えますと、市民検診の私どもが把握している数値以外の会社の検診等を受けておられる方がかなり多い、川西以外の阪神間の他の市でも同じような推移をしております、実質的には国の基準値であります40、50に近い数字を達成できているのではないかと推測しております。
委員	わかりました。ということは、29年度の実績というものは、医療機関からの実績数値ということで、アンケートではないのです。
事務局	アンケートではないです。小さいところは私どもが把握できる範囲内の数値ということになります。
委員	わかりました。
会長	14番まで終わりました。次に、32番から39番までのがん検診についてですが、受診率については、県が求めている目標値はあくまでも人口当たりの受診率ですが、実際は行政の方で把握できない企業独自の社会保険関係の検診は含まれないので、どうしても低く出ると思います。その辺りを含めて、SMR（標準化死亡率）という新しい概念を計画書には取り入れて頂きました（p13）。例えば胃がんを例にとると、胃がん検診受診率は低いのですが、SMRでみると全国平均や県平均よりもものすごく良いのです。受診率だけで評価するのではなくSMRでも評価して頂きたいと考え新しい指標を入れて頂きました。
事務局	会長がおっしゃられた数値が計画の13ページにSMRという形で載せさせて頂いています。例えば、男性では県平均が104、106となっているのですが、川西はかなり低く80%台もしくは90%を越えたあたりとなっているので、がん検診の受診率だけを見るとかなり低いという認識があるかと思いますが、SMRを見るとかなり低い、つまり、実際に亡くなられる方は低いと認識しています。
会長	がん検診について、胃がんの撲滅について医師会の方で何か取り組みはしているのでしょうか。
委員	医師会の方として、ひとつ提案させて頂いているのは、胃がんの原因としてピロリ菌が多くの胃がんに関係しているので、就学児の段階でピロリ菌の検査をして、陽性の方は治療を受けて頂いてということで、要望させて頂きました。また、胃がん検診については、原則、胃透視による検診を行っていますが、内視鏡も選択できる、つまり、胃透視か内視鏡かどちらか選択して受けられるようなシステムができないかということも、現在、検討させて頂いています。あとは、健診を受けられて、要精査という結果になっても実際に精密検査を受けられない方もいらっしゃる。そういった方を減らすということも非常に重要な取り組みですので、精密検査、精査結果報告、治療結果報告について、医療機関の方から医師会、行政の方にきちっとした数値が届くように、把握できるようにした取り組みが出来るように、更に、システムを充実させていきたいと思っています。
会長	ありがとうございました。胃がんといいますが、特に20代、30代の若い女性の進行胃がん発症が問題になっておまして、先程の幼少時のピロリ菌感染が原因とされているため、早くにピロリ菌感染を診つけて治療して、胃がんの発症を予防する新しい検診を導入すべく取り組んでいるところです。歯科医師会の方で、虫歯が減ってきて非常に効果を上げているということですが、歯科医師会委員からご意見ございませんか。
委員	まず、こどもの虫歯の罹患率がかなり下がっているということがございます。これは、親御さんが虫歯に対して関心を持っておられ、学校での検診や保育所に行かせて頂いたりしても、川西市内で南北差が若干あり、北の方が罹患率は少ないし、南の方はそれよりも若干高いかなという傾向的にはあるようでございます。こどもさん達は虫歯がないというか、ほとんどないといった状態ですが、幼児、或いは、学童期における歯周疾患、歯肉炎等は発生率は上がってきている。その辺りは、食生活、或いは、生活に関してのものができている可能性もあるのかなと思っています。
会長	虫歯が減ってきていることは、1年、2年の単年度の事業ではなく、長年の積み重なった成果だと思います。歯科医師会の先生方のご努力だと思います。
委員	ちょっといいのでしょうか。我々の業界ではディエムエフ指数といいまして、横文字なのでわかりにくいのですが、虫歯の数、或いは、虫歯を治療された歯をのことをディエムエフ指数というのですが、12歳のこどもで、今、1を切った、要するに1本虫歯のあるこどもの方が少ない、1本かゼロかということまでできてまして、私が開業した30年数前は

	ディエムエフ指数が5とか6でしたので、この30年間で虫歯の数は圧倒的に減っていると言えるかなと思っています。
会長	ありがとうございました。委員、いかがでしょうか。
委員	今、色々、聞きましてありがたいと思っているのですが、私、先日、貧困児童という講演を聞きに行きまして、1日の食事が6人に1人が給食だけというのを聞いたのですが、川西はその辺どうなっているのでしょうか。
会長	担当部局が福祉関係になるのかなと思いますが、6人に1人が貧困児童であり、所得に応じて健康格差が生じていると報告されています。つまり所得と健康が比例しているようです。所得が低いと栄養も悪く病気に罹りやすいとするデータも報告されています。貧困児童について、栄養関係団体のいずみ会の委員からご意見ありますか。給食が主な栄養を満たして、自宅ではしっかりとした食事を取っていないということをお聞きになりますか。
委員	多田にこども食堂というのがあって、月に1回なんですけれども、カレーなんですけどこどもは100円かな、一緒に作って食べたりということをしています。ヘルスアップ教室をやっても、参加してくれるこどもは親御さんが食育に興味があるのですが、逆に欠食とかというこどもさんの親御さんは食育とかに興味がないので参加が少ないのかな、もっとたくさんのこども達と接することが出来たらなと思ったりもします。
会長	検診の受診率もそうですが、全く関心のない方には実際にいろんな所でも同じだと、ありがとうございました。体操の観点からご尽力いただいておりますが、委員、いかがでしょうか。
委員	運動に関しては、非常に高い率かなと思うのですが、運動と全く関係がないところですが、がん検診のところの数値なんですけれども、平成29年は実際に個人で受診されたパーセンテージ、その前の平成28年はアンケートでということで全く調べている媒体が違うので、これを同じ数値で経年で見るのはいかがかなということで、もし平成28年も個人で受診されたパーセンテージがあって、備考欄にアンケートではこの数値とされた方が、数値だけ見ると圧倒的に平成29年度の検診率が悪くなっていますので、パーセンテージを並べるなら同じ媒体で集計したものを数字を並べる方がいいのかなとは思っています。
会長	事務局、お願いします。
事務局	アンケートを取っていない時は「ー」を入れていたのですが、実際に県に報告している数字があるのであれば、数字を入れた方がいいのではないかというご意見を頂いて、数字を入れるようにしています。委員がおっしゃられたように、数字の入れ方について検討していきたいと思います。
会長	健康まちづくり計画は、本年から始まり30年度の重点項目について説明頂きましたが、今年の重点項目、来年度の重点項目をわかりやすい形に整理して頂いて、さらに他課との連携を強化して頂き、出来れば他の部局から本会に出席して頂きたかったと思いました。その他、健康まちづくり計画について、何かご意見ございませんか。
委員	先程、重点計画であげられていました、子育て世代包括支援センターについて、妊娠から切れ目のない子育てということで有意義に機能することを期待しています。既に、連携等取られているかと思うのですが、キセラで社会福祉協議会も入っている。母子の生活する場は地域なので、包括支援センターの中だけではなく、地域に帰った時にも見回り等、支援を受けられるように、社会福祉協議会とも連携を取って、地域全体で母子の健康を守るような、子育てを守るような拠点になって頂けたらと思っております。また、ご検討ください。
会長	要望ですね。それでは、健幸まちづくり計画の今後の取組み、特に、健康マイレージの進捗状況について事務局の方から説明をお願いします。
事務局	《川西市健幸まちづくり計画の今後の取組みについての説明》
会長	ありがとうございました。それでは、その他に移りますが、よろしいでしょうか。それでは、その他について事務局、説明をお願いします。
事務局	《キセラ川西プラザの開設についての説明》
会長	歯科医師会もキセラ川西プラザに移るということですが、何か、アナウンスありますか。
委員	歯科医師会、予防歯科センター、ふれあい診療所、歯科医師会立訪問歯科センター全てが移って、連結した仕事が出来ると思っています。
会長	ますます連携を期待しています。委員、何かご意見あるでしょうか。

委員	マイレージなど、私も関係しているんですが、元気な人はいいんですが、それ以外の人はどうなるのかなど。
会長	マイレージを目的して動機づけには良いと思いますが、やり過ぎることに注意が必要です。大事な事は、健康に興味がなく、全く運動をしない人をどのように関心を持って頂くかが重要だと認識しています。委員いかがでしょうか。
委員	特にはないです。
会長	委員、ご意見はないですか。
委員	特に意見は無いのですが、健康意識の高い人はいろんな形で情報が入ってくるんですが、それ以外の方など世間が遠ざかっている人に対して、どうやって健康を増進していくのかなというのが私自身、この4月からなので、この計画では見えてこなかったのですが、全体を上げていかないと数値はあがっても川西市としての課題は残っていくのかなと思いました。
会長	ありがとうございます。大事なことだと思っております。無関心層をどうやって意識改革するのが今後の重要な課題だと思います。委員、ご意見ございませんでしょうか。
委員	健康マイレージのことでお伺いしたいのですが、7月末に締め切って1000人にいかなかったということですが、その理由と、マイレージの1日の歩数の上限は決められているのかについてお聞かせください。
事務局	昨年度は、1000人を超える応募があったのですが、今回3年しているのになかなか応募がしていただきにくいのかなといったところもどういった課題があるのか考えているところです。もう一点、歩数ですが歩き過ぎというのはいけないということで、色々な場面で無理なく歩くようにというのをお伝えする中で、ポイントについては上限を設けています。年齢によって、それ以上歩いてもポイントにはつながらないという点は設けています。
会長	よろしいでしょうか。他に、あるでしょうか。委員、いかがでしょうか。
委員	がん検診のところで医師会から要望しているとの説明がありましたが、胃がん検診など若い内にやれば抑止力になるのであれば、もっと早く話をすればと思うのですが、何故、今更、要望なのかなと思ったので、お聞かせください。
委員	医師会と行政は毎月協議会があり、そこで出させてもらっている。今回の学童期のピロリ菌抗体の測定というのは、まだ全国でもそれほど行われていない。迅速に要望していると考えて頂ければと思います。来年度の新規事業で、医師会として要望を出させていただきます。
会長	このピロリ菌検診は、兵庫県で実施されているところは殆どなくとても新しい検診です。残念ながら当行政には、医師がおられませんので医療専門家集団として、他の団体も同様に最新の情報を行政に提案し、地域住民の皆様のために様々な施策をこれまで行政で取り入れて頂いております。
事務局	仕組みとしては、提案を頂く。ただ、内容的には、市の予算と同じで色々と議論させて頂いています。
会長	皆さんから多くの意見を頂きましたが、予定した時間も過ぎましたので第1回健康づくり協議会を終了させて頂きと思います。よろしいでしょうか。以上をもちまして終了させて頂きます。有難うございました。